

随意契約結果及び契約の内容

業 務 の 名 称	最適最良な人工干潟の整備技術開発に関する研究委託
業 務 概 要	既存のAI 等を活用して、地元ニーズを踏まえた人工干潟・藻場を造成する際の適地検討における簡易な計画案作成や干潟・藻場造成断面の概略検討が可能なシステム開発を行う。
契 約 担 当 官 等 の 氏 名 並 び に そ の 所 属 す る 部 局 の 名 称 及 び 所 在 地	分任支出負担行為担当官 中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所長 内田 貴宏 国土交通省中国地方整備局広島港湾空港技術調査事務所 広島市南区宇品海岸3-10-28
契 約 年 月 日	令和8年5月28日
契 約 業 者 名	国立大学法人広島大学
契 約 業 者 の 住 所	広島県東広島市鏡山1丁目3-2
契 約 金 額 （ 税 込 み ）	¥4,932,924
予 定 価 格 （ 税 込 み ）	¥4,932,924
随意契約によることとした理由	本業務は、既存のAI 等を活用して、地元ニーズを踏まえた人工干潟・藻場を造成する際の適地検討における簡易な計画案作成や干潟・藻場造成断面の概略検討が可能なシステム開発を行うものである。 業務の遂行にあたっては、人工干潟・藻場の計画や造成断面に関する研究実績を有すること、干潟・藻場の生態系、環境改善に関する知見を有すること、また既存技術情報を汎用LLM と組み合わせたローカルG P T を構築する能力を有することが必要である。 国立大学法人広島大学は、人工干潟・藻場の計画や造成断面に関する研究実績として「浚渫泥の特性を活かした干潟断面の設計」「段階的に覆砂された造成干潟が創造する生物場」等の研究実績を有し、干潟・藻場の生態系、環境改善に関する知見として「礫材を用いた人工干潟における生物活動が固定する炭素量の定量」「有機物泥の構造分析による難分解性有機物の形成機構の検討」等の研究実績による十分な知見がある。また既存技術情報を汎用LLM と組み合わせたローカルG P T を構築する知見として「堆積泥のC, N 組成による生物生息環境の推定-ポアソン分布の学習による環境場の評価-」の研究に取り組むなど高度な知見を有している。以上のことから、本業務を遂行するにあたり必要な能力を有している。 本業務を遂行するにあたり必要な能力を有する者は、国立大学法人広島大学以外にも存在する可能性があることから、令和8年4月28日から令和8年5月18日までの期間において、本業務の受託希望者の公募を行ったが、参加意思確認書の提出者がいなかった。 以上のことから、会計法第29条の3第4項に基づき、国立大学法人広島大学と随意契約を行うものである。
業 務 場 所	—
業 種 区 分	建設コンサルタント等
履 行 期 間 （ 自 ）	令和8年5月28日
履 行 期 間 （ 至 ）	令和9年3月15日
備 考	